

音戸の瀬戸公園の活用

— 公募型プロポーザルによる優先交渉権者の選定結果 —



音戸の瀬戸公園の概要・活用に向けた経緯

公園の概要

- ▶ 瀬戸内海の島々，四国地方までを一望できる眺望
- ▶ 桜やツツジを求め，来訪されるスポット
- ▶ かつては，国民宿舎，温浴施設，飲食施設が営業

活用に向けた経緯

- ▶ 令和3年3月の温浴施設の閉店後，公園内に飲食などの休息できる施設がない状況
- ▶ 公園の魅力向上に向けて取組を進める方針
- ▶ 令和6年8月～：民間活力を導入した公園の再整備を進めるため，「公募型プロポーザル方式」により提案を募集
- ▶ 令和6年11月：優先交渉権者を選定

位置図



音戸の瀬戸公園

所在	呉市警固屋8丁目地内外
公園面積	18.7 ha
設置年月日	昭和37年4月1日

公園内からの眺め



未利用地となっている「汐音跡地」



優先交渉権者の選定結果

選定事業者

CCKグループ（地域創生ソリューション株式会社を代表とする共同事業体）

【構成事業者】

	法人名等	役割
代表法人	地域創生ソリューション株式会社	開発担当
構成法人①	株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション	コンサルティング（企画立案）担当
構成法人②	株式会社広島銀行	資金調達・事業計画検討支援担当
構成法人③	ひろぎんエリアデザイン株式会社	コンサルティング（地域連携支援）担当
構成法人④	ファースト信託株式会社	信託受託担当
構成法人⑤	宿泊施設・飲食施設運営担当企業（※1）	宿泊施設・飲食施設運営担当

（※1）協定締結時に企業名を公表予定

▶ 上記の構成法人のほか、事業実施に当たり、段階的に構成事業者を新設・選定の予定

優先交渉権者による提案内容

提案のコンセプト

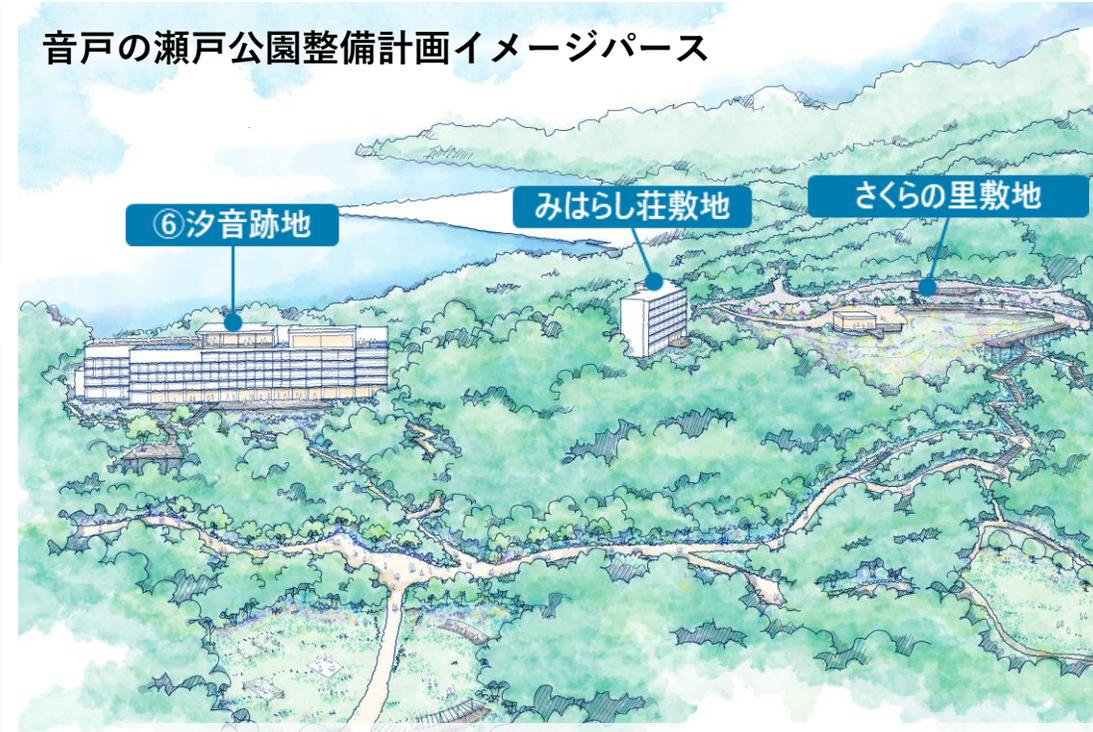
「休息拠点の場」 = 「Ondo Base」

呉市・瀬戸内エリアの観光消費の拡大及び市民・観光客の憩いの場の両立を目指し公園の整備・運営を提案

提案事項

- 1 民間資金による賑わいブランド力向上・観光消費拡大の呼び水となる宿泊施設・飲食施設の開発・運営の提案
 - ▶ 「汐音跡地」
 - ▶ 「みはらし荘敷地(公園区域外)」
 - ▶ 「さくらの里敷地」
- 2 賑わい向上に向けた公園全体のリニューアル整備の提案
 - ▶ 公園全体の整備計画を呉市と連携して策定し、呉市が公園の再整備を実施
- 3 公園全体の一体的な運営の提案
 - ▶ 公園全体を指定管理者として管理・運営

音戸の瀬戸公園整備計画イメージパース



※イメージパースの著作権は優先交渉権者に帰属するため転載禁止

Ondo Base

滞在の拠点
寛ぎの拠点
出会いの拠点
行動の拠点
となる公園再生を目指します。

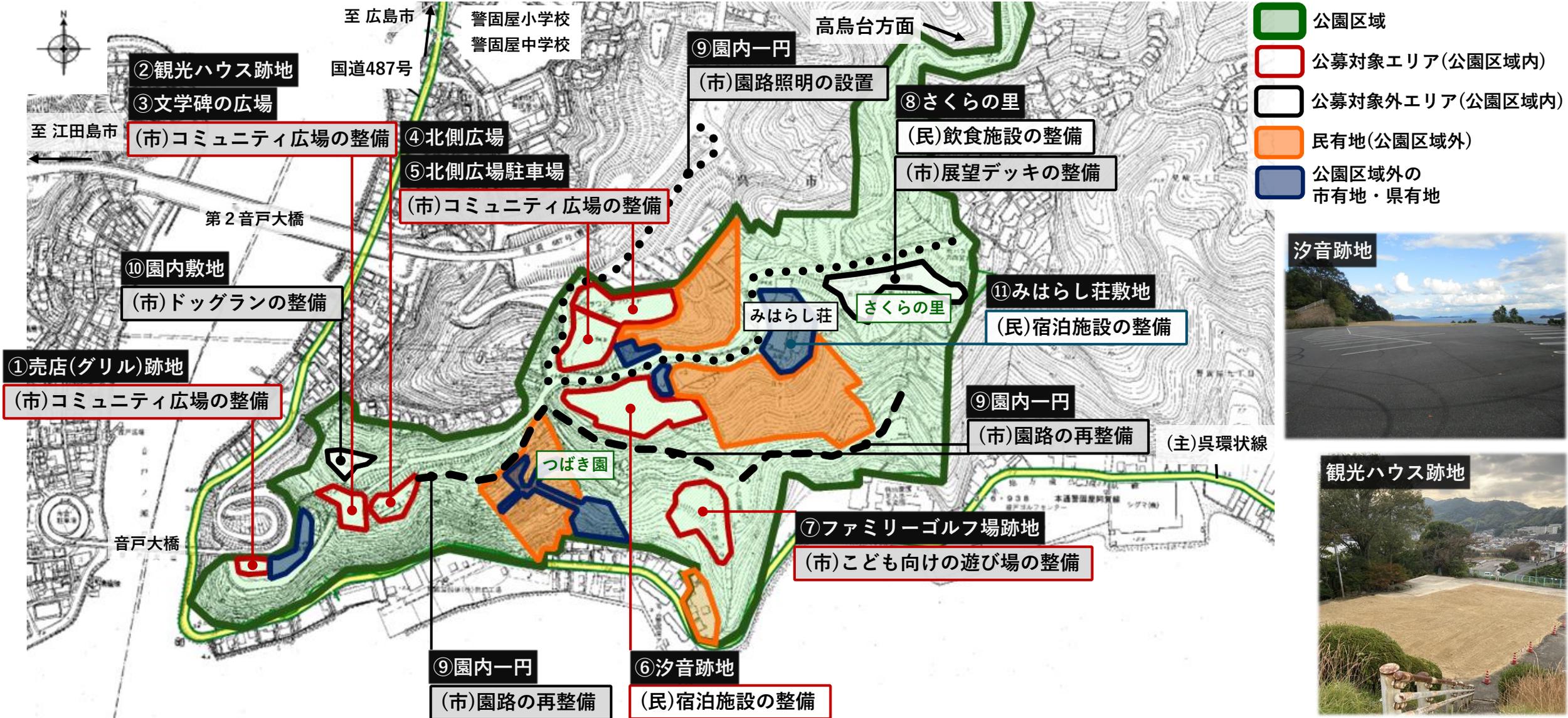
優先交渉権者による提案内容

エリアごとの提案内容と整備主体

	エリア	提案内容（整備する公園施設等）	整備主体
①	売店（グリル）跡地	コミュニティ広場の整備	呉市
②	観光ハウス跡地		
③	文学碑の広場		
④	北側広場駐車場		
⑤	北側広場		
⑥	汐音跡地	宿泊施設の整備	優先交渉権者
⑦	ファミリーゴルフ場跡地	こども向けの遊び場の整備	呉市
⑧	さくらの里敷地	飲食施設の整備	優先交渉権者
		展望デッキの整備	呉市
⑨	園内一円	散策路の整備や園路への照明設置	呉市
⑩	園内敷地	ドッグランの整備	呉市
⑪	みはらし荘敷地 ※公園区域外	宿泊施設の整備	優先交渉権者

提案内容の位置図

※公園区域及びエリア区域は、おおよその範囲を図上に表示したものです。



今後のスケジュール

～令和7年3月 : 基本協定の締結

- ▶ 呉市と優先交渉権者において、音戸の瀬戸公園内への施設の設置や双方の役割などについて協議
- ▶ 令和7年3月を目途に公園施設の設置に係る協定の締結を目指す。



令和7年度 : 「音戸の瀬戸公園整備計画（仮称）」の策定

- ▶ 公園の魅力向上に向けた取組みを計画的に進めていくため、優先交渉権者の提案内容を参考に、呉市において「音戸の瀬戸公園整備計画（仮称）」を策定する予定

【「音戸の瀬戸公園整備計画（仮称）」の内容（予定）】

呉市が主体となって進める整備の内容、スケジュール、イメージ図等